

# 不登校・不登校傾向生徒への個に応じた支援の工夫

－支援組織と「ほっとルーム」の活用を通して－

孺恋村立東中学校 谷川 篤

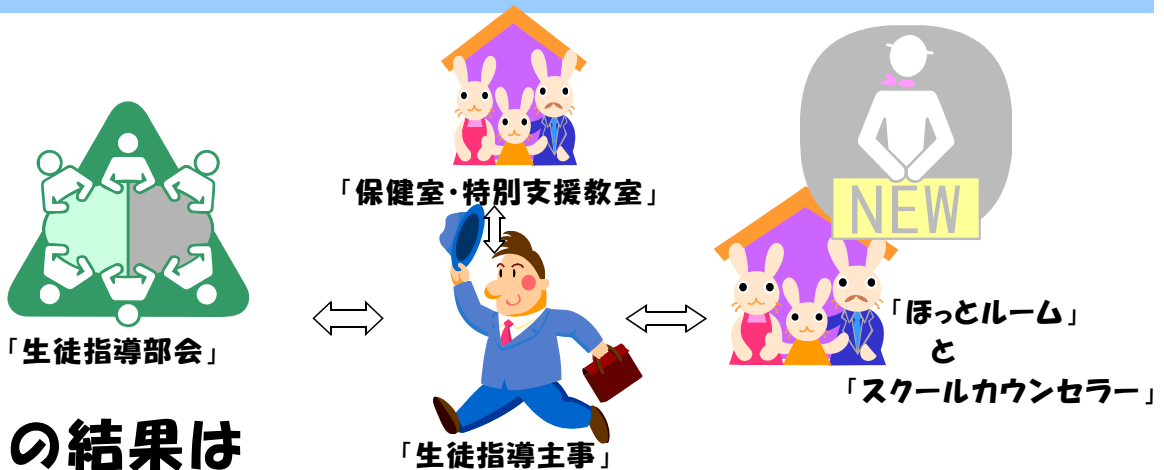
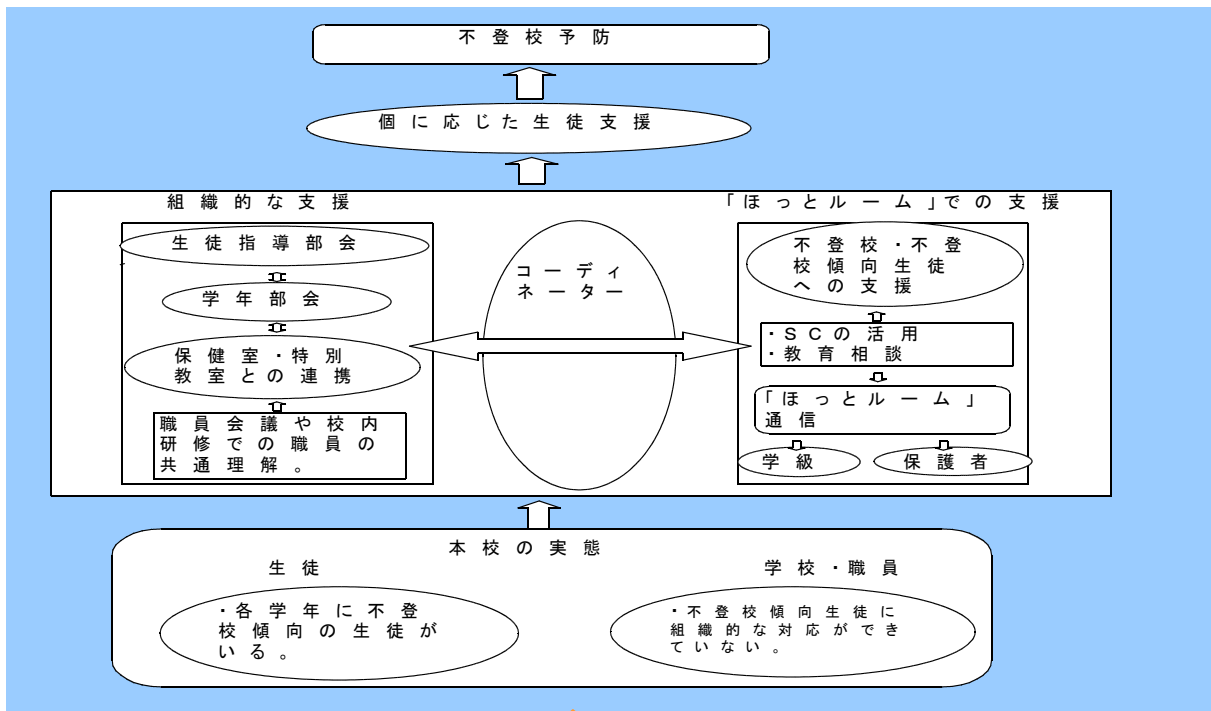
## 《 研究の概要 》

不登校・不登校傾向の生徒への対応として、組織としてチーム支援していく取組と共に、「ほっとルーム」を設置し問題解決的な場として活用することで個に応じた支援をしていくものである。「ほっとルーム」では、カウンセリングなどでスクールカウンセラーが支援に加わる。チーム支援組織と「ほっとルーム」での取組とを生徒指導主事がコーディネートすることで、より有効な支援の方法を工夫していくものである。

## 不登校対策どうしよう



# 基本的な考え方はこのようにしました。



## その結果は

生徒指導部会の定例化で生徒の情報が伝わりやすくなった。そのことで、その生徒に必要な支援がしやすくなりました。

「ほっとルーム」とスクールカウンセラーの活用で、不登校予防への支援に力をいれることができました。

「ほっとルーム」と保健室・特別支援教室との連携で、いろいろな生徒に対応した支援ができました。お互いの活動状況がもっとわかりやすければ、協力し合える場面が増やせる。

**以前よりも生徒に対して、幅の広い個に応じた支援が可能になりました。**